

## 研究主任研修会から

平成29年4月28日(金)東山地域交流センターで管内小・中学校研究主任研修会を行いました。本研修会は、実践発表、パネルディスカッション・講義を通して、「児童生徒の学力を保障するための組織的な対応」について考えを深め、研究主任の先生方の実践意欲につなげることをねらいとして行いました。当日は、学力保障のための校内体制の在り方や授業改善の視点等についての学びを深めました。

### 1 実践発表

「学力保障の取組先進実践校における実践について」

昨年度の「学力保障の取組先進実践校」である、奥州市立前沢中学校、一関市立猿沢小学校の2校に実践発表をしていただきました。発表の一部を紹介します。

＜奥州市立前沢中学校 後藤 一恵 先生＞

「いわての授業づくりの視点に基づいた授業改善の取組」

#### 1 教科の新たな取組指標の構築

- ・本校生徒の実態把握シートをもとに、より具体的な取組目標を設定した。

#### 2 授業改善への取組

- (1) 「いわての授業づくり3つの視点」の中で特に重点的に取り組む視点を設定した。

(学習の見通しと振り返り)

\*学びの目的や方向性を明確にもたせ、自己の学びの変容を実感できる授業へつなげるため

- (2) 「いわての授業づくり3つの視点」をもとにした授業参観カード(10の視点)を活用した研究協議を行った。

#### 3 生徒の学習に取り組む意識の向上をねらった取組

- ・指導部と連携した協働的な学びを支える取組として、フレンドシップタイム(学期ごとに2回実施) STトークタイム(毎週月曜日の6校時)を行った。

＜一関市立猿沢小学校 佐藤 洋子 先生＞

「学校と地域が一体となった学力保障の取組」

#### 1 学力向上計画の共有化と調査問題の分析

- (1) 学力向上年間指導計画を作成した。
- (2) 全国学調の分析を全職員で行い、問題の内容、記述のポイント等を話し合い、自校の課題の把握と課題解決のための方法について共通理解を図った。

#### 2 学力の課題を視点とした授業改善の取組

##### (1) 指導方法の工夫

- ・焦点化、視覚化を意識した掲示や板書を行った。
- ・ペアや小グループでの学び合いを積極的に取り入れた。
- ・振り返りの視点を明確にした。

##### (2) 学習環境の整備

#### 3 基礎・基本の定着をめざした日常実践と家庭との連携

- (1) ドリルタイムを設け、漢字・計算の繰り返し学習に力を入れて取り組んだ。
- (2) 家庭音読、家庭学習について、保護者の協力を得ながら継続的に行った。



### 2 パネルディスカッション・講義

「児童生徒の学力を保障するための組織的な取組について」

4校の先生方にパネラーとして発表していただきました。フロアーの先生方からも積極的に意見が出されました。一部を紹介します。

＜パネラー＞

- |             |      |        |    |
|-------------|------|--------|----|
| ・奥州市立水沢小学校  | 主幹教諭 | 波田野 誠  | 先生 |
| ・一関市立興田小学校  | 教諭   | 藤野 孝   | 先生 |
| ・奥州市立江刺東中学校 | 教諭   | 高橋 由紀子 | 先生 |
| ・一関市立一関中学校  | 教諭   | 佐藤 真   | 先生 |

#### ○諸調査結果の活用について

- (「確かな学び、豊かな学び」実現プランの活用)
- ・4月の早い時期に職員会議で共通理解を図った。
- ・今年度の数値目標を研究会で再確認した。
- ・学力向上研修会の場において全職員で確認した。

#### ○課題を解決するための取組について

- ・校内研究と学力保障の取組を一本化した。
- ・相互参観の機会を多く設けた。(一人一公開授業の実施。)
- ・人間関係を大事にした学級づくりを進めた。
- ・学力調査の分析をもとに、授業改善の方向性を全職員で確認した。

#### ○主任層との連携について

- ・「誰が」「いつまでに」「何を」行うのかを教務主任と常に確認した。
- ・教務部と研究部で分担を明確にし、それぞれの内容を確認し合いながら進めた。

#### ○保護者・地域を巻き込んだ取組について

- ・まなびフェストで学校の取組について共通理解を図る。
- ・家庭学習カードへ保護者からコメントを記入していただいている。
- ・日常から地域との連携を密にしている。

学力保障において大事なことは、「全教職員が同じベクトルで組織的に取り組んでいくこと」「児童生徒一人一人に力をつけるためにさらに授業改善を図っていくこと」の2点を確認しました。

### 希望選択研修(10:45~12:15)

午前中は、4つの内容の希望選択研修を行いました。Aは、新任研究主任悉皆+希望、BCDは希望でしたが、全研究主任の半数以上にあたる54名の先生方の希望がありました。



それぞれの分科会では、児童生徒の確かな学びのために、研究主任として何が必要なのか、また、どんなことができるのかという視点で意欲的に講義や演習に臨む先生方の姿が見られました。

### アンケートから(一部抜粋)

- ・「常に子供たちのため」という視点で、教職員間で連携して取り組んでいきたい。
- ・全職員の協力、共通理解のもと、学力向上の具体策を提案していきたい。
- ・昨年度までの取組について充実・改善を図っていきたい。

「実践していきたい」「進めていきたい」のように、今回の研修で学んだり考えたりしたことを今後の実践につなげていく旨の感想が多く寄せられました。